



徳留 真紀

参戦クラス：J-GP3 クラス

チーム：マルマエ MTR

マシン：ホンダ NSF250R

タイヤ：BRIDGESTONE

今シーズンも沢山のスポンサー様のご協力の元、自身のチーム“マルマエMTR”よりJ-GP3クラスに継続参戦。今年は全日本ロードレース選手権も全6戦（J-SBクラスを除く）のスケジュールが組まれている。

昨シーズンは新型コロナウィルス蔓延によりレース開催に大きな影響が出たが、今シーズンは感染症対策を施しながら、当初のスケジュール通りツインリンクもてぎで開幕を迎える事となった。徳留自身、シーズンオフにはライディングスキルの向上の為にフラットトラックやトライアルバイクなどを中心にトレーニングを続けた。

マシンについては昨シーズンの課題としてきた低速域での加速性能の弱点を改善すべく、開幕前から数々のテストを行ない、様々なトライとエラーを繰り返しながらレースウィークを迎える事となった。

開幕戦の舞台となるツインリンクもてぎの特徴は、ストレートとストレートを小さいコーナーで繋ぐいわゆるストップアンドゴーのレイアウト。徳留にとって苦手意識のあるレイアウトだが、ここ最近はその苦手意識を克服し表彰台登壇や勝利確率も高く、今や徳留にとってもてぎは相性の良いトラックとなっている。

木曜日の特別スポーツ走行。午前午後共にマシンの調子が悪く連続周回が出来ず、2分03秒4止まりの10番手辺りで終える。金曜日午前にも新たな対策を試み多少の改善はするが、まだまだ時間がかかると判断し、午後からECU（エンジンコントロールユニット）を交換。幾分走るようになったようで2分02秒4にタイムアップし5番手。事前テストから天気に恵まれコンディションも良いため、トップのタイムは徳留の自己ベストに近い2分01秒フラットまで詰まってきた。これからセットアップをどんどん進めて遅れを取り戻す必要がある。

4月3日 土曜日 天気：晴れ / 路面コンディション：ドライ

公式予選 6位 2'01"690

予選は朝9時40分からの30分間で行われる。一番の課題はアクセレーションの改善である。燃調のマップとエンジンブレーキフィーリング、そして足回りのセットアップを変更しコースイン。序盤は混み合った中でのタイムアタックとなり、なかなか思うように走れず2'02"155止まりでピットに戻る。この時点での順位は8番手あたり。予選時間も10分を残し燃調とリアサスのセッティングを調整し再度コースイン。周りとの間合いを取りつつタイムを上げ02秒1、そしてラストラップには更にペースを上げ、2'01"690をマーク。それまでの8番手辺りから6番手に順位を上げ終了。開幕戦のスターティンググリッドは何とか2列目を確保した！

4月4日 日曜日 天気：曇り時々晴れ / 路面コンディション：ドライ

ウォームアップ 6位 2'02"456

迎えた決勝日。早朝8時からのウォームアップセッション。ウィーク中最も早い時間からの走行であり路面温度も低い。この走行ではフロント周りのパーツを変更し、コーナー進入での改善が見られたが、エンジンの調子が相変わらず思わしくない。低速域での不調を改善すべく決勝に備える。

決勝レース 18周 路面コンディション：ドライ

曇り空の午前10時30分にJ-GP3のレースがスタート。

徳留は2列目6番手グリッドからまずまずのスタートを見せるが6番手で1コーナーへ。5コーナー進入で高杉を捕らえ5番手に上げオープニングラップのコントロールラインを通過。トップ争いは7台。5番手につける徳留は3周目4番手に上がるが、翌周一つポジションを落とし5番手となる。3周目には徳留を含みトップは5台の集団。いつもなら順位を上げて行きそうな展開ではあるが、マシンのセッティングが出ていなようでコーナーからの加速で明らかに離され、ブレーキングから進入でその差を詰める展開。その後着いて行くのが厳しくなり、徐々に後退し単独の5位走行となってしまった。しかしながらトップと遜色ないペースをキープし我慢の走りで踏ん張るが、後半にはラップタイムが2秒台に落ちてしまう。最終的には4位の細谷から6秒遅れの5位で開幕戦のチェッカーを受けた。

徳留のコメント

残念なレースとなってしまいました。

日曜日になり足回りが良くなったので、今まで以上にコーナーを攻める事が出来ましたが、低速コーナーからの立ち上がりでエンジンの反応が悪く加速で離されという辛い展開でした。序盤こそスリップストリームが使えて、走り方も修正しながら後ろに着けていましたが、残念ながら離されてしまいました。しかし最後の最後まで何が起こるか分からないのがレース。トップ争いの展開によっては！と、可能性に賭けキープの走りではなくタイムを上げられるように攻め続けましたが、中盤を過ぎるとさらにエンジンの力が無くなりタイムも落ちてしまいました。次のSUGOに向けチーム皆で原因の究明と対策に力を入れ必ず巻き返します。

難しい情勢の中、変わらず支援して頂いている沢山のスポンサー様やご協力頂いている方々のお蔭でレース活動が出来ています。本当に感謝しています。また応援して頂いているファンの皆様どうもありがとうございます。

2021年開幕戦終了時点年間ランキング5位 11ポイント（トップから14ポイント差）

